

平成29年度 猪名川町・小学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

猪名川町内の小学校児童の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。

■ 調査内容

調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成した。

■ 調査対象

猪名川町立小学校5年生の児童
調査対象教科は、国語・算数

■ 調査日

平成29年4月18日（火）

■ 調査結果

【小学校の調査結果】

		猪名川町全体 正答率 (%)	全国平均 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均 との差	受験者数
小学校 5年生	国語	73.5	76.2	69.3	▲ 2.7	348
	算数	69.0	72.5	69.6	▲ 3.5	348

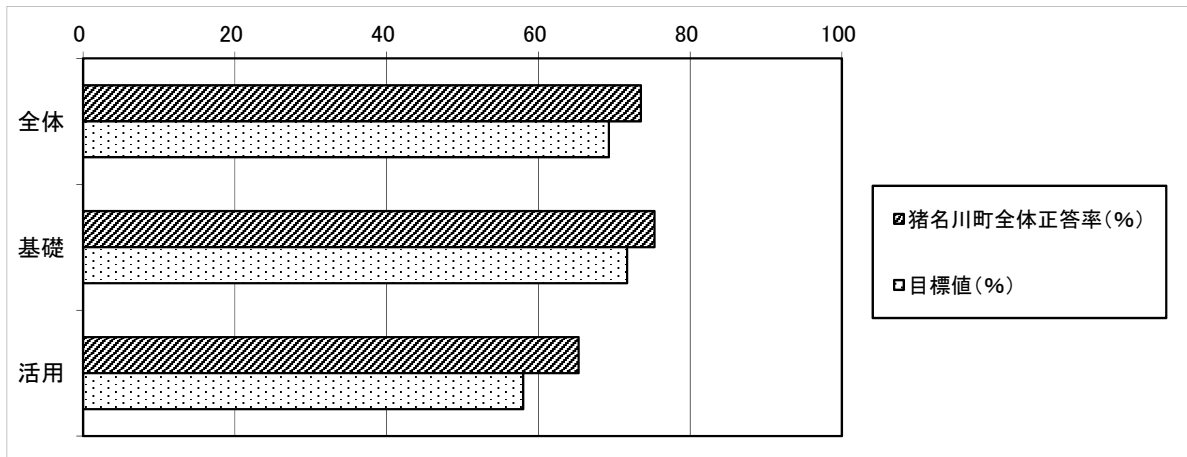
※「目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

町全体の正答率は、国語・算数ともにほぼ目標値と同程度である。

■小学校5年生 国語

(1) 基礎・活用正答率

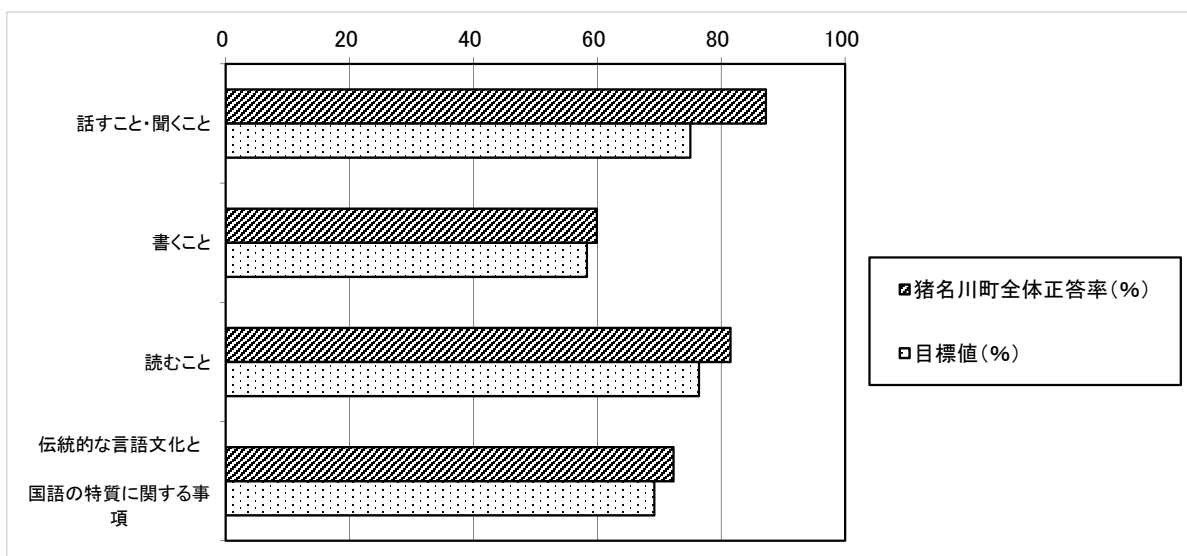
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	73.5	75.3	65.3
目標値 (%)	69.3	71.7	58.0
目標値との差	4.2	3.6	7.3



基礎・活用別に見ると、基礎問題は75.3%と目標値を3.6%上回っている。昨年度に引き続き活用問題についても、65.3%と目標値を7.3%上回っており良好な状態である。

(2) 領域別正答率

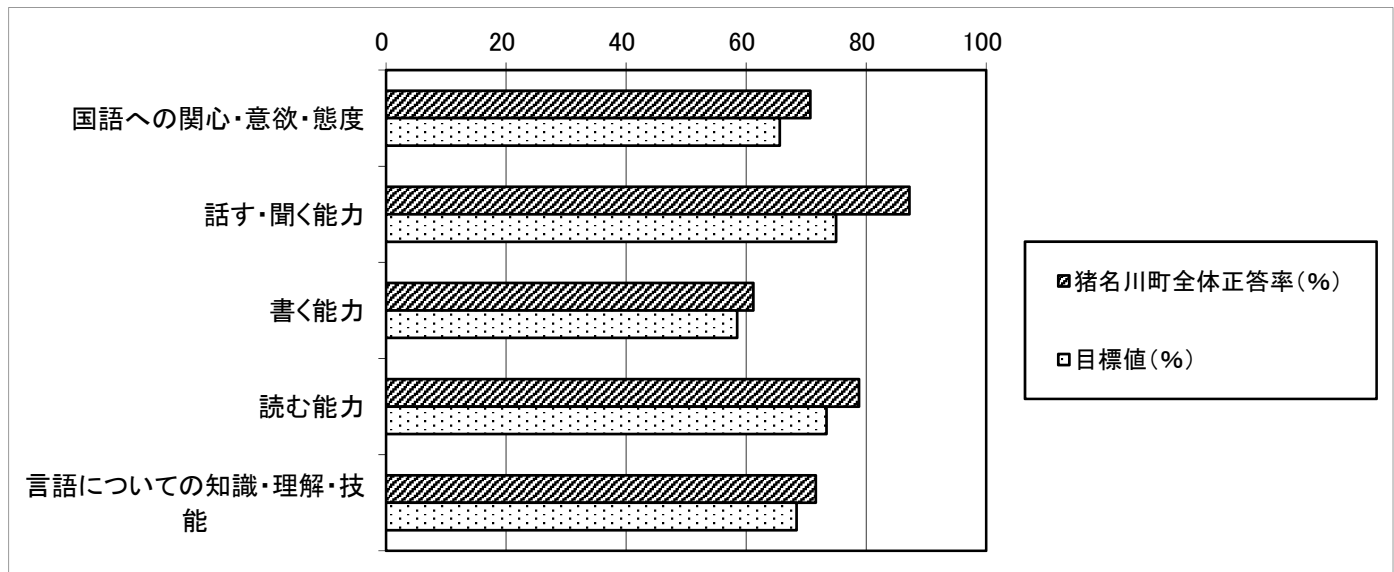
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率 (%)	87.2	59.9	81.5	72.3
目標値 (%)	75.0	58.3	76.4	69.2
目標値との差	12.2	1.6	5.1	3.1



領域別に見ると、昨年度は「書くこと」「読むこと」は目標値を下回っていたが、今年度全ての領域で目標値を上回り良好である。

(3) 観点別正答率

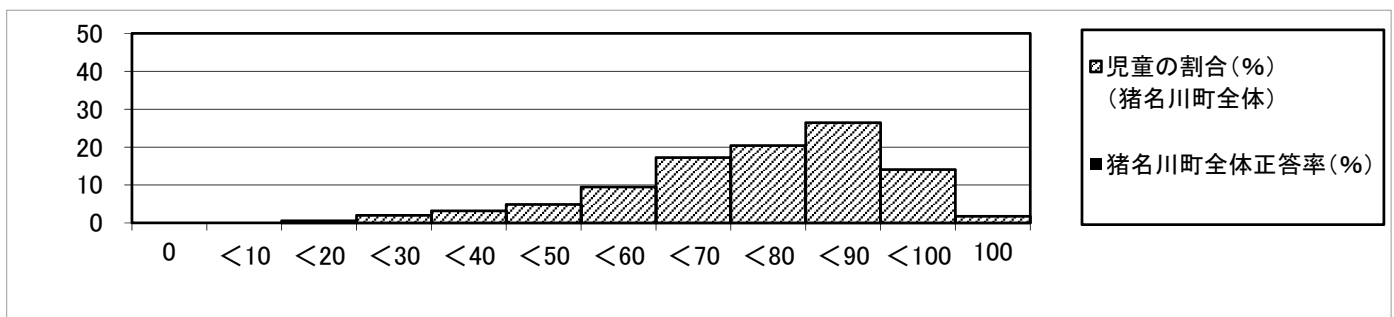
	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
猪名川町全体正答率 (%)	70.7	87.2	61.2	78.8	71.6
目標値 (%)	65.6	75.0	58.5	73.4	68.4
目標値との差	5.1	12.2	2.7	5.4	3.2



観点別に見ると、昨年度は「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」は目標値を下回っていたが、今年度はすべての観点で目標値を上回り良好である。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.0	0.6	2.0	3.2	4.9	9.5	17.2	20.4	26.4	14.1	1.7



町全体で、正答率80%以上の児童が42.2%と、昨年度の26.6%を上回った。正答率50%未満の児童は10.7%と、昨年度16.5%より大幅に減少しており良好である。

(5) 課題のある小問についての分析

大問3(2)

【言葉の学習】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	14.7	30.0	▲ 15.3	23.5	▲ 8.8
出題のねらい	文の構成(連用修飾語)について理解している。				
対策	どの言葉がどの言葉を詳しく説明しているのかという文の構造について理解することは、文章を書くときや、文章の内容を正しく読み取るときにも必要である。視覚的に分かりやすい、言葉の関係の図を用いて、どの言葉がどの言葉にかかっているのか、文の構造を理解させることが大切である。また、簡単な文の空欄に、さまざまな修飾語を入れる練習を積み重ねることも有効である。				

大問4(2)

【物語の内ようを読み取る】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	74.1	75.0	▲ 0.9	77.7	▲ 3.6
出題のねらい	登場人物の気持ちを読み取ることができる。				
対策	文学的な文章において、登場人物の言動から心情や様子を読み取することは、基本となる読み方の一つである。本問では、設問部の直前の部分を丁寧に読み取れば足りる。長い文章であっても、それぞれの場面で登場人物がどのような様子であったのか、きちんと読み取れるようにしておきたい。				

大問6(2)

【保健委員会のポスターを作る】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	46.6	45.0	1.6	46.3	0.3
出題のねらい	与えられた情報を読み取り、ポスターに補足する文を書くことができる。				
対策	複数のテキストの情報を対応させることで、必要な情報を得られるかがポイントになる。【ポスター案】イの③の説明に当たる内容について、【ポスター案】アではどのような説明になっているかを対応させてみれば、洗い方に関する必要な情報を得ることができる。上記③以外の説明についても、書き方の特色をしっかりと捉えさせ、取り出した情報に対応させた説明文を書くことができるように指導したい。				

大問7

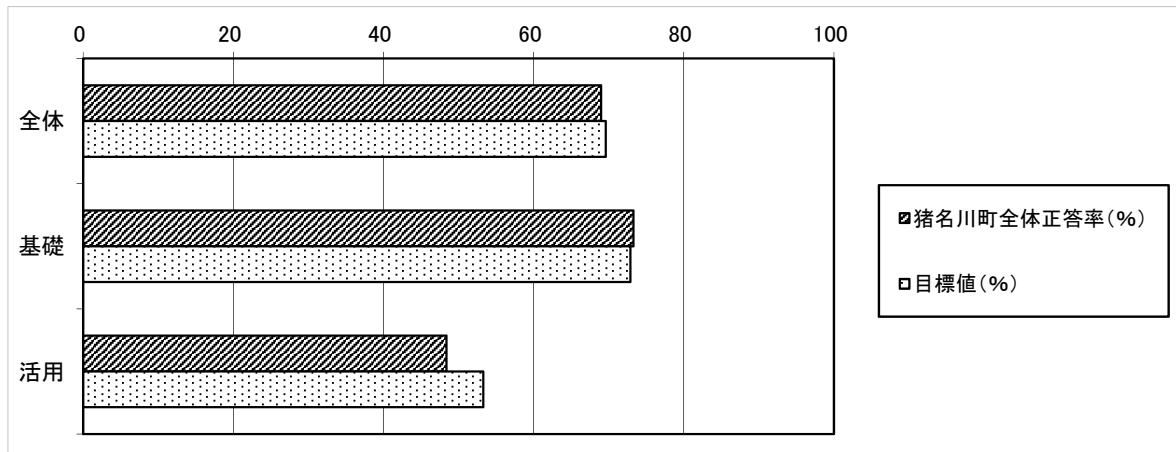
【作文】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	54.2	70.0	▲ 15.8	71.6	▲ 17.4
出題のねらい	目的や必要に応じて、文章に書こうとすることを明確に示すことができる。				
対策	本問は、第一段落に、アンケートの調査結果から読み取ったことを書くことができるかを見る問題である。目的や必要に応じて、まとめた文章を書くことが重要である。日頃から授業の中で、学習している文章が何の目的で書かれているものなのかを意識したり、学習の見通しをもって授業に取り組んだりすることを、きちんと指導していくことが必要である。				

■小学校5年生 算数

(1) 基礎・活用正答率

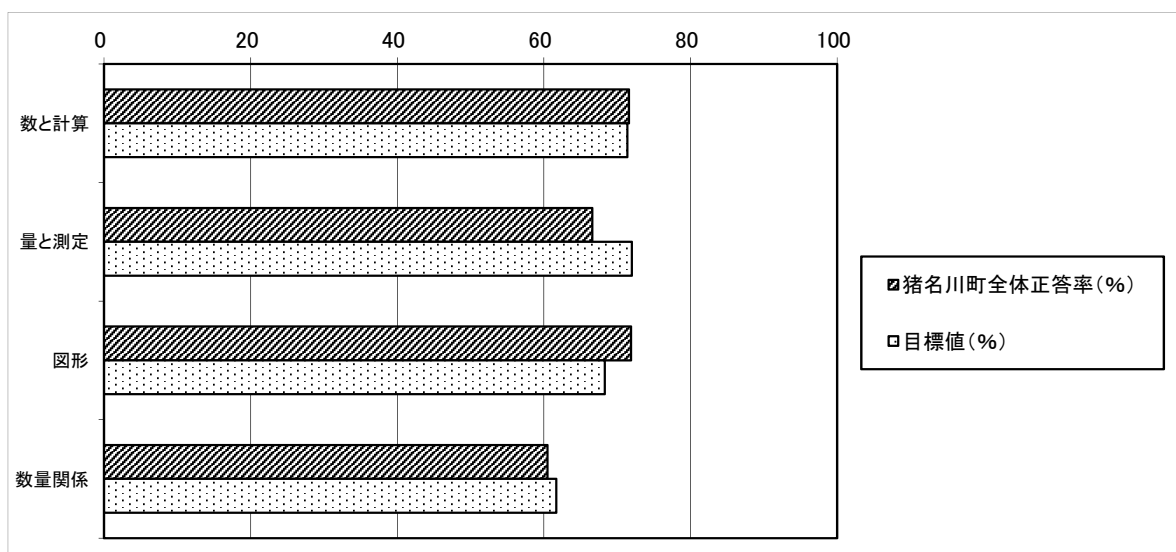
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	69.0	73.3	48.4
目標値 (%)	69.6	72.9	53.3
目標値との差	▲ 0.6	0.4	▲ 4.9



基礎・活用別に見ると、基礎問題は73.3%と目標値を0.4%と同等、活用問題は48.4%と目標値を4.9%下回っている。

(2) 領域別正答率

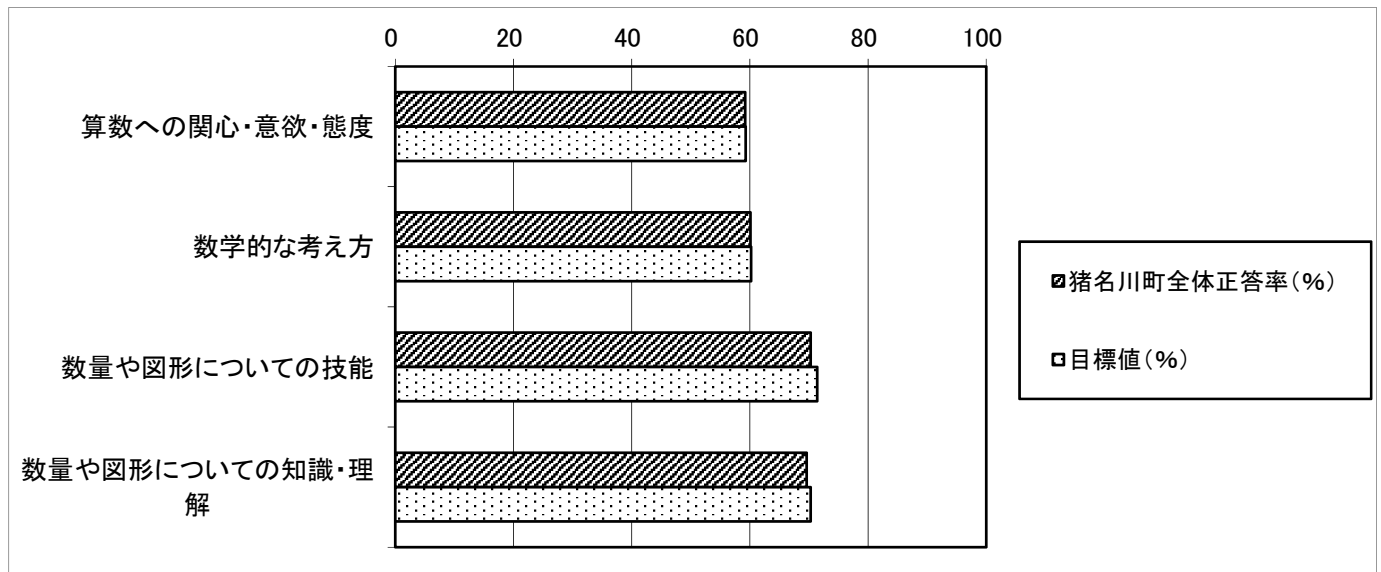
	数と計算	量と測定	図形	数量関係
猪名川町全体正答率 (%)	71.6	66.6	71.9	60.5
目標値 (%)	71.4	72.0	68.3	61.7
目標値との差	0.2	▲ 5.4	3.6	▲ 1.2



領域別に見ると、「量と測定」が目標値を下回っており課題があるが、それ以外の領域についてはほぼ同等である。

(3) 観点別正答率

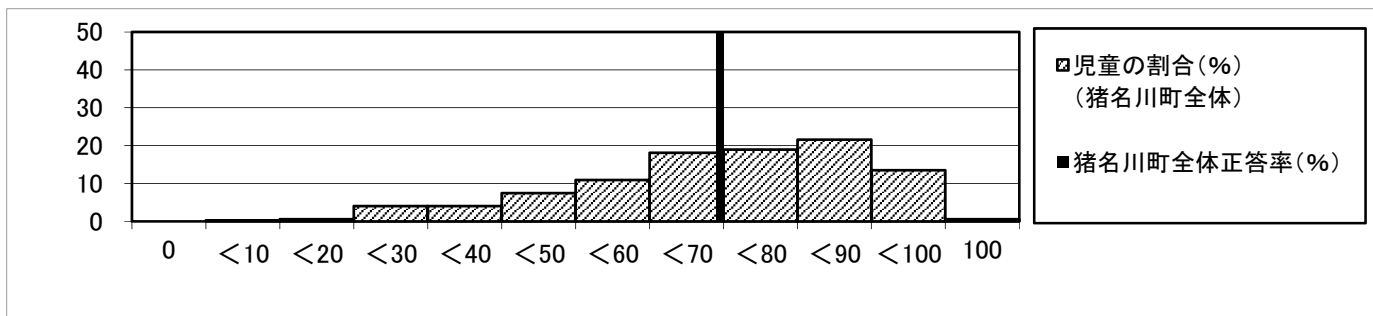
	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
猪名川町全体正答率 (%)	59.2	60.1	70.3	69.6
目標値 (%)	59.3	60.2	71.4	70.3
目標値との差	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 1.1	▲ 0.7



観点別に見ると、すべての観点でほぼ目標値と同程度である。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	0.6	4.0	4.0	7.5	10.9	18.1	19.0	21.6	13.5	0.6



町全体で、正答率80%以上の児童が35.7%と、昨年度の20.9%を上回っている。
また、正答率30%未満の児童は4.9%と、昨年度の9.6%より減少しており良好である。

(5) 課題のある小問についての分析

大問3(2)

【小数】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	49.4	55.0	▲ 5.6	49.9	▲ 0.5
出題のねらい	小数を用いた重さの単位換算ができる。				
対策	小数を用いると、長さや重さなどを1つの単位で簡潔に表すことのできるよさがある。また、量感を豊かにすることもできる。単位の換算を確実にできるようにするためには、まず、単位どうしの関係を知ることが大切である。例えば、1kg=1000gであり、その関係からkgをgに換算するには1000倍すればよいというように手順を明らかにすることで、単位の換算を確実にできるようにさせたい。				

大問10(2)

【角の大きさ】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	55.7	70.0	▲ 14.3	60.9	▲ 5.2
出題のねらい	180° より大きい角の大きさの見当をつけることができる。				
対策	角の大きさの見当を付けるには、角の大きさを回転の大きさとして捉えることが大切である。ここでは、問われている角度が3直角より大きく4直角より小さいことが分かれば、正答に辿り着くことができる。また、この問題に関連して、180° より大きい角度を測るには、180° の補助線を引き、分度器で残りの角度を測ればよいことも指導しておきたい。				

大問18(1)

【わり算】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	39.4	45.0	▲ 5.6	45.4	▲ 6.0
出題のねらい	わり算の計算を工夫して求めている考えから、使っている計算のきまりがわかる。				
対策	わり算の性質は、小数のわり算、分数のわり算の計算の仕方を学習する際に用いる考え方である。この性質を用いると、わり算の計算が簡単になることに触れ、わり算の性質のもつよさについても指導する必要がある。また、授業では、友達の考えを理解できるように指導し、別の問題でその考えと同じように解決させる、あるいは説明させるような活動を取り入れるとよい。				

大問19(2)

【折れ線グラフと表】

	自治体全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	14.9	30.0	▲ 15.1	21.2	▲ 6.3
出題のねらい	折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる。				
対策	けんたさんとりかこさんの考えが、グラフのどの部分を根拠にしているのかを判断する問題である。グラフの指導にあたっては、グラフに表すこと、グラフの数値を読むことだけでなく、グラフから読み取れることや分かることを話し合う場面を設定し、何を根拠にしているのかを明らかにして発表するような活動を行うとよい。				